

第6回人吉市立学校のあり方検討委員会会議録

令和8年8月27日（木）午後2時30分～

人吉市市役所3階 庁議室

～ 次 第 ～

1 開会

2 委員長あいさつ

3 人吉市教育委員会あいさつ

4 議事

（1）人吉市における「義務教育学校」設置についての検討

（2）人吉市における「小中一貫校」設置についての検討

5 本日の総括（委員長）

6 その他

（1）次回開催日（予定） 令和8年10月1日（木）午後2時30分～
人吉市役所3階 301・302会議室

7 閉会

< 午後2時30分 開会 >

1 開会

杉本 係長

人吉市立学校のあり方検討委員会設置条例施行規則第5条第2項により、委員の過半数の出席をいただいているため、本会は成立することを宣言します。

ただいまより、令和8年第6回人吉市立学校のあり方検討委員会を始めます。どうぞよろしくお願いします。

2 委員長あいさつ

八幡 委員長

本日は大変暑い中お集まりいただきありがとうございます。7月28日の地震の際は、皆様大丈夫だったのでしょうか。今日の午前中、熊本市内の図書館に関する会議に出席したのですが、熊本市は南北に長く、北の方は何ともなかったのですが、南の宇城地区や隣接した地域は、本は全部書架外に流れ、棚を固定していた留め金が外れて書架が倒れたという被害の状況をうかがいました。高速道路も対面通行ですが開通しており、私も本日無事参加できたところです。本日も皆様の忌憚のないご意見をお願いします。

3 人吉市教育委員会あいさつ

志波 教育長

本日はご多用な中、第6回目のあり方検討委員会にご出席いただき、ありがとうございます。早いもので8月も終盤に入りました。昨日から人吉市内の中学校が、小学校は明日から第2学期がスタートします。全国に目を向けると、暑い夏が関係しているのか、水の事故がたくさん報道されていました。人吉市の子ども達、小中学生は大きな事故・事件に巻き込まれることなく2学期を迎えることが出来そうです。これも地域、学校、様々な方々の支えがあつてのことだと感謝しております。第2学期も子ども達がしっかりと成長していけるように、各学校、教育委員会が手を携えて頑張っていきますので、よろしくお願いします。

本日、文科省から「公立小中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」の改訂版が届きました。市町村における検討状況、計画等の重要性という項目の中に、「少子化に伴う学校の小規模化への対応を市町村ごとに見ると、必要な検討がすでに行われている地域もある一方で、様々な事情でまだ検討が進んでいない地域もある」、「小規模校には個別指導が行いやすいなどの利点がある一方、社会性の育成に制約が生じることを始め、教育指導上の多くの課題が存在しているところもちゃんと理解をして進めなければならない」とありました。また、検討するうえでの要件として「広域化」、「総合化」、「現代化」の3つが挙げられており、広域化は単一の市町村ではなく人口減少が進む中で複数の市町村での学校設置という視点、総合化は市町村の中での将来のまちづくりも一体的に検討を進めていく必要性、現代化は学習指導要領の改訂を踏

まえてそれをしっかりと進められるようにという視点。そういったことを意識しながら検討を進めていく必要性が求められているようです。

委員の皆様のような視点から忌憚のないご意見をいただいて検討を進めていければと思っております。本日もよろしくお願いいたします。

4 議事

杉本 係長

それでは議事に入ります。ここからは、人吉市立学校のあり方検討委員会設置条例第3条第2項により、八幡委員長に議長を務めていただきます。議事の進行をお願いします。

八幡 委員長

議事に入ります。本日の議事は2つ、(1)人吉市における「義務教育学校」設置についての検討、(2)人吉市における「小中一貫校」設置についての検討です。昨年度から委員をされている方々は、義務教育学校と小中一貫校のメリット・デメリットに関しては簡単ではありますが説明があったと思うのですが、本年度から新しく委員になられた方もいらっしゃるの両方の違いについて再度確認を、というご意見があったと伺っています。そのことを踏まえ、まずは義務教育学校とはこういったメリット・デメリットを持つか、事務局から、ご説明願います。

(1) 人吉市における「義務教育学校」設置についての検討

(2) 人吉市における「小中一貫校」設置についての検討

新宮 審議員
委 員

《資料P 1～7より説明》

今説明していただき、義務教育学校と小中一貫校の違いはわかりました。そこで動きとしては、例えば人吉球磨ではこっちに動いている、熊本県ではこう動いている、全国的にはこう動いているといった情報があれば教えてください。

新宮 審議員

人吉球磨の中では義務教育学校が増えてきています。これまで水上村の水上学園、球磨村の球磨清流学園がすでに義務教育学校を設置しており、本年度から五木村の五木学園、さらに来年度からは相良村が義務教育学校をスタートします。小中一貫校としては、校舎が隣接していることもあり、湯前町が設置を進めています。

県全体では、南関町が小中一貫校に、来年度から熊本市南区の天明で義務教育学校が開校されるという報道もあります。義務教育学校は球磨郡では増えていますが、県全体としてはまだ数校というところではないかと思います。小中一貫校は隣接型と分離型があるので、そういう意味では、今のところは小中一貫校の方が多いかなと言ったところです。

委 員

全国的にはどうなのか、情報はありますか。小中一貫校があつて、何かがあつて義務教育学校が出てきたんですね。小中一貫校から義務教育学校に移るというのは、情報としてないですか。

新宮 審議員

今のところ聞いてはおりません。

委 員	もう一点。今、義務教育学校と小中一貫校のことは、人吉市の教育委員会議で話題になっていますか。
新宮 審議員	教育委員会議内では特に協議はしていません。
委 員	今回の会議に先立ち、質問をいくつか事務局に送りました。その中の一つが、義務教育学校と小中一貫校についてです。私は前回初めて参加したのですが、昨年度から参加されている方の中でもあまり理解が進んでいないのかなと、わからないまま話を進められてもという懸念があったので質問したのですが、私は今の説明で納得しました。ただ、球磨郡内を見ると義務教育学校が多いのですが、義務教育学校も小中一貫校も、大体地域に1校か2校の小学校に一つの中学校がセットになっている、というところばかりで、先ほどの南関町の場合も4小学校に一つの中学校です。人吉市の場合は3つの中学校区に6つの小学校があるので、組み合わせも含めて地域の理解が深まらなと厳しいと思いますが、住民意見交換会の参加状況を見ると、今のまま進めるのは非常に恐ろしい気がします。進めるのならば、どの形態にするにしても地域の理解を得る必要があると思いますが、ただ地域の参加者も学校がなくなると困る、という視点でしか話が出て来なかった印象でした。そうなるのは仕方がないけれども、自分達の子や孫や地域の子ども達にとっていい教育環境になる、ということを理解してもらわないといけないので、こういった議論と意見聴取は個人的にとっても大切だと思います。ちなみに、郡内も含めて小中一貫校や義務教育学校の視察はどの程度されていますか。
新宮 審議員	義務教育学校と小中一貫校の視察はしておりません。
委 員	昨年度の議論で中学校の規模について話があった時に、思うように部活動ができない、という話がありました。今3つの中学校がありますが、生徒数が少ない三中をどちらかの中学校に統合して2校にしたとしても現時点の生徒数とほぼ変わらず、現状の一中や二中でも単独でできない競技もあるとのことでした。そういった競技活動の実態があるならば中学校は一つでいいよね、そこで切磋琢磨してみんなでやっていけばいいよね、という論議があったと思います。小学校は徒歩通学を考えた時に現存でいいのではないか、それぞれの良さがあるし、それぞれのコミュニティの中で育てていく方がいいのでは、という話になりました。前回は学校選択制・不登校特例校の話で、今回も義務教育学校・小中一貫校の話題になり、義務教育学校をあえて作ろうとすれば、結局一中・二中クラスの中学校に小学校がくっついてくるスタイルになる、そうすると、中学校の部活動が思うようにできないという問題はどこへいつてしまふのかな、という気持ちになります。中学校は施設を作って1校にしてしっかりとした教育活動をさせてあげたい、それぞれの小学校で育った子どもが全部同じ中学校に行くとなると、形は違うけれども小中一貫校のようになるのではないかな。中学校から教員が時々行きながら、中学校に上がったならこんな感じだよ、と示していけば、形は違っても中身は小中一貫校のスタイルになるのではないかな。人吉に合った小中一貫校のあり方を作り上げていけば、全国につながっていくのかもしれないと思って今日

の会議に臨んでいます。どこかで始まった義務教育学校に人吉にも同じようなスタイルを当てはめるのではなく、形は違うけれども、一つの中学校に全部の小学校の児童が上がっていく、その中でどう連携していくのか、と考えていけばいいと私自身は思っています。

委員 この義務教育学校と小中一貫校の話は、全て普通学級の話です。特別支援学級の子供達のメリット・デメリットがまったくこの中に記載がありません。そこらへんは何かありますか。あれば教えてください。

新宮 審議員 特別支援学級に関しては、その時々や学年で数が全く違うので、なかなかそれを一括りで考えるのは難しいと思います。実際、人吉市の教育支援委員会などで判断して就学先を考えていく中で、年によって人数のばらつきがかなりある、障害種によっても大きく違うところを考えると、一括りで説明するのはできないと思います。ただ、その子供達を大事にすることはもちろんなので、その子供達にとって、それぞれの形になったとしても、どの形であっても特別支援学級を大切にしていこうという姿勢は、人吉市としては変わらずに進んでいきたいと考えています。

委員 今言われたように、特別支援学級の子供達は様々です。ここを見ると、バス通学等の記載もあり、かなり負担になると思います。確かに人数はわからないと思いますが、そこらへんは先進校の事例を研究する必要はあるのかなと感じます。

委員 保育園連盟からです。自分がこの場にいる役割として、就学前と小学校のつながり、保育園から小1への接続を含めて、0歳から18歳までをどうつなげていくかという視点から、意見を述べたいと思います。

この資料は小中連携と義務教育の違いが書かれているのでこのような形になっていると思いますが、現在の状況から義務教育学校を選択した場合、そのつながりはより深くなるのか、今まで通りになるのか、浅くなるのか、そこが分かりづらいと思います。エリアとの付き合いやつながりが深くなると書かれていますが、エリアは広くなるので、やっていることが同じでもエリアが広くなれば薄くなる。それは賛成・反対という話ではなく、具体的に、例えば義務教育学校になった時にこうなります、というところも示してもらえたら、その場合はこういうメリットがありますね、と話ができるのですが、ここにはそれがないのでコメントのしようがないなと思います。せっかく呼んでいただいているので話したいとは思っているのですが、そういうところも示してほしいです。

志波 教育長 小学校をどうしていくのか、園との接続という部分だと思いますが、今6つの小学校があり、それが検討委員会の中でどうなっていくかはこれからだと思いますが、小学校が何校になったとしても、その接続についてはいい方向になるように努力をしていくことが大事であって、学校数によって園から小学校への接続にメリット・デメリットが生じるかという点については、デメリットが生じないようにしなければならないと私は考えています。

委員 この資料をいただいて違和感を覚えました。理由は、今までは3つの中学校を一本

化しようという話になっていたと私は考えていたからです。そこでこの資料を見て、あれ、と思ったのですが、前の議論の時にも重要な点でそぐわないなという感じを私は受けていました。それは学童保育です。小学校の場合は学童保育があります。そうした場合に、一貫校になったら学童はどうなるのかなと。なぜかという、今ほとんどの家庭が共稼ぎです。学童に依存している家庭が非常に多い。そういったところからすると、これが果たしていいのかなと疑問になりました。その辺は教育委員会ではどう思っていますか。

八幡 委員長

学童保育への懸念ですね。おそらく小学校ごとに学童保育の場が提供されている、なので小学校の数が少なくなると不便が生じる保護者が出てくるのでは、ということだと思います。そういった不利益が生じないように何らかの、学童に関する児童だけは旧校区ごとに設けるとか、そうしたところを含めた展望があるのか、という質問だったと思うのですが、いかがでしょうか。

鶴口学教課長

今回義務教育学校と小中一貫校の資料を出した理由ですが、学校の再編・統廃合にはいろんな形があるので、前回学校選択制や不登校特例校について協議していただき、今回は義務教育学校と小中一貫校について、すべての学校再編・統廃合の形を示した上でどういった意見があるかということをおのり方検討委員会で諮っていただきたいということで、このような形となりました。

あと、学童保育については、人吉市の学童で公立のものはありません。保育園・幼稚園、すべて私立なので、そこはまた別の問題になると思います。

委 員

うちも保育園なので、学童も多少やっています。これは全部の園が必ずやらなければならないということではないのですが、それぞれの地域のニーズ・要請に応じて開けています。学校施設を使って学童をしている園はありません。学校から学童に来る経路が変わることについてはいろんな工夫が必要だと思います。

八幡 委員長

今出てきた学童の問題もですが、仮に学校が再編されるとして、一番顕著なのは通学路が長くなるということです。様々な不便や課題が出てくると思います。そうした課題にどう対処するのも考えないといけない、他にもいろんな問題が生じてくると思います。それを考えていくためにも、いろんな意見をいただければと思います。

委 員

意見です。先ほど特別支援学級の子どもの話をしてしました。前回不登校の子どもの問題がありましたが、例えば義務教育学校として一中・東小・西小が1校になった場合、2校分の校舎が空くのだから、そこを不登校の子どもの達や特別支援学級の子どもの達を通う分校のようにすると人吉独自のことができるのではないかと。

八幡 委員長

これまでの会議でも、不登校や規模の小さい学校に特色を設ける話もありました。特別支援、不登校、それ以外にも人吉市の教育振興計画などを見ると、グローバル化やスポーツのことも出ているので、そういった様々な視点での特色化、どのようなところを特色にするかということをおし合うのもいいかもしれません。

あと質問です。私も昨年度の会議の内容として、中学校はしっかりとした教育制度を作るということで1校、小学校は6校で現状維持、はっきりとそういった方向で確

認したところまではいかなくても、小学校は複数校という形で昨年は話が終わった感じがします。そのパターンも一つある、と。今日の資料は義務教育学校・小中一貫校について準備していただきましたが、人吉市の中で特定の地域に限って義務教育学校を1校のみ設置する、地域によって設置の方法が異なる形を検討することは可能でしょうか。熊本市でも、多くは小学校は小学校、中学校は中学校なのですが、先ほどお話があったように、義務教育学校を設置されるところもあれば、不登校や語学など、規模の小さい小学校で特徴を設けている学校もある状況なので、弾力的な学校のあり方でもいいのかなど。

委員

私も同じような質問です。全部同じシステムにする必要はあるのかを検討しないといけないと思います。それにこだわらなくていいのであれば、子ども達が集まってくるような学校を作っている自治体や地域があるので、公立でも工夫して特色ある学校を作るのもいいのでは。仕組みとして、私立ではこういうのもあったよね、という特色があって他とは違う教育課程を設けている学校を公立で作り、学校選択制にして選べるようにしている地域も複数あって、移住してでもその学校を選択する実態もあるし、学校によっては人気で抽選になっているところもあるようです。そういった情報をどれだけ教育委員会が持っているか、それとも私達が調べないといけないのかを知りたいです。私達がやるのであれば、不勉強だけでもそういった学校を見に行かないといけないし、市が準備して調べているというのであれば教えてほしいです。それを全然調べていないのなら、私達に丸投げしすぎでは。

志波 教育長

委員長の質問ですが、これはそういった形も考えられないことはないと思います。児童生徒数が多い自治体の中で、ある地区は学校が複数あるけれども、どんどん学校が小規模化している、そういうところが義務教育学校として新しくスタートする形は全国でもいくつか見られます。人吉市の今後10年、それ以降のことを考えたときに、児童生徒数との関係で、大規模校が一方にはあり、小規模校が複数校あるような状況が人吉市の方で生まれてくるのかどうか。そこを踏まえて考えていく必要はあると思います。

また、委員が言われたところは、どちらが考えないといけないということではないと思いますが、教育の方法的な部分で特例校のような形で進めている学校が全国の公立校にあるのは私も把握しています。人吉市でも、今でも特色ある学校、教育の質を高めていこうと常に努力をしていますが、学校を新たな形でスタートすることも今後できないことはありません。そういった意見があれば、今後、方向性を出す時に検討していかなければいけないと思っています。

委員

子どもの数が少なくなったから小中一貫校や義務教育学校、ということではなく、その中に統廃合の問題があると思います。人吉市は子どもの数が少なくなって維持できなくなる、そのままでいいならばいいのですが、違うと思います。私達が諮問されて話し合うのは、統廃合は必要か、ということです。統廃合した時にどんな学校が必要か、小中一貫校か義務教育学校か、学校選択制か不登校特例校か、そこら辺から詰

		めていかないといけない。最終的にはどれがいいか決めないといけないということでしょうか。
委 員		事務局の説明では、すべてのことについて審議をして答申を出すために、こういうのがありますよ、ということで提示した、と。なので、今日結論ではなくて論議をした、最終的に人吉市はこういう方向で行きましょう、ということで答申を出すと。そういうことで事務局は資料を準備したということですよね。あと、地域ごと、ということでは例えば現時点で人吉の大畑小・三中校区は児童生徒数が少ないので、運動会を合同で行うなど学校行事を連携して行っています。以前の四中・大塚小・田野小のもっと小さい学校があった時はどうしても一緒にしないとできない教育活動があり、さらに地域も入ってという特殊な教育活動を実践してきているのに、そこをわざわざ一つの建物にして義務教育学校にする必要があるのかが疑問です。今まで実践してきた連携をさらに密にしていけばいいし、それを例えば教育委員会が援助をするスタイルで、あえて形を変える必要はないと私は思います。中学校は大きいところで部活動を十分にさせて高校につなぐような形を作ればいい、人吉市独自の小中一貫校があればいいなと私は思っています。大変だろうけど、アイディアは出てくるのでは。地域の現状として、どうしても学校を存続させないといけない、活性化させないといけない場合、子ども達が移住してくてくれるような魅力ある学校が必要で、行政と学校、施設、すべてがアイディアを出し合っていけばいいのでは。人吉市にも特色のある学校があつていいと思います。
八幡 委員長		中学校1校でいえば、資料3ページ、義務教育学校を設置する場合のパターンについて。パターンA、パターンB、パターンCと3つあり、私は熊本市からこの会議に伺っているのでお尋ねしたいのですが、例えば、パターンAは人東小と人西小、西瀬小と中原小、東間小と大畑小という分け方になっていますが、地域の皆様の感覚からするといかがですか。今までの中学校区という感じでしょうか。
委 員		AパターンのX中是人東小と人西小、旧大村校区です。Y中は中原村、西瀬村の校区です。Z中の東間小と大畑小は藍田財産区にあたる部分で、今でもある区です。学校割としては。しかしこれは昭和17年より前、人吉市ができる前の話なので、もうその感覚の人はこの場にはいないと思います。
八幡 委員長		今の皆様の感覚としてはどうですか。例えば小学校をどこかと一緒に、と考えたときに、どれが実態に合うと思いますか。
委 員		私はパターンB、X中が一中・人吉東小・東間小、Y中が二中・人吉西小・西瀬小・中原小、Z中が三中・大畑小です。
委 員		私もパターンBが、この中では一番いいだろうと思います。
八幡 委員長		そうすると、大畑小と三中が独立して一つになります。パターンCは難しいでしょうか。先ほどのパターンBに初めからX中とZ中が合わさったものがパターンCです。
委 員		大畑小と三中は、現時点で実質的に小中一貫校となっているのではないかと。教職員

の先生方も連携していて、中学校の理科の先生が小学校に教えに行ったりしています。学校の分け方で言えばパターンBで、校区に小学校を残してほしいという思いがあり、三中大畑小は小中一貫校で進める形が私の理想です。さらに特色ある学校ということなので、例えば小学校から英語の授業にとっても力を入れていますよ、数学・算数に強い子どもになりますよ、そのために外部の先生を入れていますよ、だから皆さんどうですか、と他の校区に希望者がいたら入学できるように学校選択制にする。そうするとスクールバスの問題等も出ると思いますが、それはその時に対応していけばいいと思っています。一中、二中に関しては、統合する時に小学校の保護者、これから保護者になる未就学児の保護者にも理解を得る必要があると思います。

委員長
鵜飼学教課長
委員

Z中は、三中大畑小で76人と書いてありますが、6年後は何人ですか。

住民意見交換会の時にお示ししていますが、令和13年、5年後で57人です。

それを言うと、それぐらい減るなら一つにしないといけないよね、という話になると思うので、一旦そこを外して考えた方がいいと思う。前回のあり方検討委員会で、それに向かって中学校の大きい学校を一つ用意して、という形の理想を示した方が今後はつなぎやすいのかなと思っているのですが、果たしてそこまで踏み込んでいいのか私はわかっていないので。学校をこんな風に分けます、今後は一つにするので大きい学校を建設します、となった時に、人吉市の財政が、という話がどんどん膨らんでいくので、そこまで答申を上げられるのかどうか、今この会に参加していてドキドキしているところです。将来いろんな人から委員会のメンバーだったよね、と責められる、そんなメンバーだと思うので、ちょっとドキドキしています。

委員

関連です。前回話になった、現在学校のあり方を検討していることを市民の方が知らないことについて。現在の小中学生の保護者も就学前の保護者もほとんど知らない。ここら辺はあの後何か対策されましたか。

委員

三中のPTAです。人吉市PTA連絡協議会に諮り、市P連主体でアンケートを取ろうということで承認を得て、8月28日に各市内小中学校9校、市内の幼稚園・保育園・こども園に配付する予定で現在動いており、次のこの会議でアンケート結果をお示しできればと思っています。アンケートの内容は、各中学校区に中学校と小学校が一つずつのパターン、小学校6校、中学校1校のパターン、後は現状維持。あと一つは、わからない。判断できない、という項目で、最後に自由記述、どういう思いがありますか、どんなパターンがいいですか、などのアンケートをWEB回答を基本に準備しており、教育委員会にはすでに了承は得ています。その中に、今のあり方検討委員会のホームページにダイレクトにつないで、結果も出るようにしています。どのような設問でどういった回答だったかも。それに全部が全部の皆さんが反応するかはわかりませんが、とりあえず知ってもらうことが大事だと思います。現状も載せていて、令和17年には児童生徒数が40%減る、次の世代はこうなっていくよ、だからちょっと考えようね、というのを頭の中に入れてほしいという思いでアンケートを作っています。

委員

アンケートありがとうございます。会議に先立ち、質問を教育委員会に送った中に、アンケートを取るという話は前回の会議の中で、事務局の回答からもあったのですが、アンケートを取るにしても園によっては保護者が機能していないところもある、という話もあり、保護者会長が頑張るとみんなも頑張ってくれるけれども、名前だけの保護者会があるので、そこは園長先生にも下ろしていただけるときちんと伝わるのかなと思います。あと、アンケートをよくわからないままで答えるのは難しくて、考えたことがないことを尋ねられても適当に答えるしかない。先ほどおっしゃったように、自分の子どもが行く学校だ、と実感して初めて思考が始まるし、そこで初めてアンケートの本来の意味が出てくる。思考したうえでのアンケートなら資料になると思うのですが、今回は一番初めの投げかけでしかない。けれどもこうした投げかけをもとに課題意識をもってもらえたら、何も考えていなかった人も、他の人が自分の校区がなくなったらどうやって通学するのか、他の人とたくさん話し合うことで、人数が多い学校だと友達も増えるし、人数は大事だな、と思うかもしれない。やり取りの場に将来保護者になる人達を引っ張り出さないといけないと思います。課題意識がある人は必ず集まると思います。保護者会を見ている、小学校のPTAは結構集まる、中学校でちょっと減ってくる、高校になるともっと減る、というパターンで、保育園の場合はほとんど来ます。夫婦で来るところもある。このまま進めていけば、せっかく検討しても100点の答えは絶対出ないし、あの時あんなに検討して、でもこうなったんだという納得にもつながっていくのではないかな。最終的には決まった制度に乗っかっていくのはわかっているのですが、せっかくならば主体的に関わってもらえたら、というところを、少なくとも保育園単位で保護者向けの説明会をしてほしいと思います。来てくださるのではなく。来てくださりとなればみんな、LINEで連絡はきたけれどもよくわからない、自分のところには関係ないと思っている人もいるし、今回の議論は人吉市全体のことで、私は学校PTAよりも保育園の保護者向けのことをしないとまずいと思っています。

八幡 委員長

本当にありがたいなと思ってお話を伺っていました。数のことを持ち出すと何も言えなくなる面があるのですが、大畑小学校だけでなく他の学校のPTAも住民意見交換会の出席数が少なすぎたことを踏まえて、少しでも意識のある人を巻き込むためにアンケートのやり方も工夫していただいて、意見を言ったり考える場を与えていただいている、ということがとてもありがたいと思います。さらにこれからの保護者になる就学前の保護者への働きかけもとても大事だなと思いました。この委員会には保育園代表、幼稚園代表の方もいらしていますが、そのあたりはいかがでしょうか。

委員

すでに幼稚園は市内で1園のみで、私は認定こども園からです。うちの園では保護者の方々が美化作業でたくさん集まっていたいただいた時に、PTA会長から「こういうふうになるんだよ」とお話をしてもらい、今後保護者を集めて話し合いをする時間を設けましょうという風に進めています。自分達の子どもに関わってくる話なのに、情報が届いていない。本当に何も知らない状況で進んでいて、でも本当に関わるのは今

の未就学児の保護者達なので、保護者の方々にはそのように伝えているところです。

委 員 員 これから小学校に上がっていく世代こそ詳しく知る権利があるし、詳しく知っておかなければいけないと思います。けれど現状は届いていない。それを届けていく手伝いはしないといけないと思っています。ただ、届ける時に、どの情報をどう届けばいいのか、と困っています。市のHPにアクセスすると情報は見られるという話はしていますが。具体的な話が出てくると皆さん興味を持つので、人吉市がどういう小中学校を作っていこうとしているのか、その目標に対して、例えば義務教育学校が一番適しています、というストーリーがあると皆さんに伝わりやすくなるかなと思います。単純に制度でどっちがいいですか、となると、わからん、となるとと思いますが、そういった形であれば保護者の皆様に情報を出していく時にも伝えやすいです。

八幡 委員長 保護者の方に情報を出す場合に、先ほど言われた教育委員会の方から園に出向いて話をしてもらった方がいい、というあたりのご要望はありますか？

委 員 員 先ほど話したものです。何を伝えるかによって保護者の方々をどれくらい集められるかが変わってくるので、もちろん重要性も把握しているので知っていただきたいのですが、具体的にどの場面でどのような声掛けをするのかというのが、さっきの話に関わってくるのかなと思います。

委 員 員 中学校部活動の土日の地域展開の時もそうだったのですが、部活動がなくなるんだな、という情報を少し前から送り、今回のアンケートもその動きですよ、というのが第一段階、それを何度も繰り返して伝えていく中で、ようやく保護者もいよいよ変わるんだ、と心構えと意識をもって参加してくださると思うので、このアンケートで終わりではなく、どんどん情報を送りアンケートを取っていくと保護者も意識を持ち始めるとと思います。何を伝えればいいのか、私達もわからない状況ではあります。

委 員 員 各校区の公民館長会の代表として出席しています。何を下ろすかという前段階の話をしないと、決定した説明会ではなくて、それまでの意見や思いが出るようなことをしていかないといけないなと思っています。特別支援学級の話がありましたが、保護者の立場から考えると、統合すると校区が広がって通う学校が遠くなるかもしれない、バスが出るというけれどもバスに乗れない子もいる、そうすると親が連れて行かないといけない、仕事にも関わってくる、そこで初めて具体的に考えるのだと思います。スクールバスが出るかもしれないけど、支援が必要な子の中にはたくさん子どもが載っているとそれだけで乗れなかったり、乗って暴れたり、動き出してから大変なことになった時に困るんです、という親だから気づく話がたくさんあると思います。それをたくさん吸い上げると、これから作っていく新しい学校をどう配慮した形でやっていくのかというところが見えてくるのではないかと。私が先ほど視察といったのは、そういったところを見てほしい、聞いてほしいと思っていて、地域がどんな動きになったのか、視察していないということなので、今いる住民で考えるようにしていかないといけないかなというのを強く思っています。それを踏まえて答申を作っていくしかないのではないかと。

八幡 委員長	もう少しメリット・デメリットも踏まえて具体的なビジョン、見通しを持ってからの方がいいのでは、と。
委 員	私は中学校の教員もしていたのですが、中学校は学習の専門性だけでなく、集団での社会性を身につけていく、使い方を覚えていく場であることを考えると、ある程度の規模は必要だと思います。部活動の話もありましたが、部活動はあくまでもその一つで、かつ今後どうなっていくのかわからないことを考えると部活動は切り離して考えて、ある程度のスケールがあった方が力が伸びる部分も大きいということをはっきり打ち出しておけば中学校についての議論はスムーズにいくのではないかと。それを踏まえて、各小学校をどうするかを考える。その大枠で、今日の資料や他にも特例校やフリースクールなどいろんな学校があるので、そういったものを全部示して意見を聞くというのは絶対必要かなと思います。
委 員	私は昨年度、第1回のこのあり方検討会の前に、保育園は今こんな状況ですよ、だから学校だけでなく下から話をしないといけない、と話をしたら、これは学校の話で下は下の話がありますから、ということでした。私はいつかの段階では話す必要があると思っていたのですが、今まさにそういう話が出ている。ここには連続性があるんですね、生まれる子がいて、成長し、学校へ行くのですから。保育園は人吉市に14園ありますが、年間140人ぐらいしか生まれてないので保育園自体も大変になってくる、なので先ほどの学童保育も熱心にされている。そしてこの学童もこれから煮詰めていかないといけないと思いますけれども、私は学童保育は保育園で手掛けて、学校では教えないことを保育園の学童で取り組むことも大事だと思います。今、下城本は西瀬校区、西小の自由校区、田町あたりも東間小と東小の自由校区になっていますが、ここの線引きもどうなるのか。現状と変わらないのか、又は、特色のある学校を選択できるようになるのか、校区の町内会長会でこの会議の話を報告した時にも自由校区の話が出てきました。今後はどうなるのか、そこらへんも考慮していく必要がある。あと、ある程度の制度は作っていかないと、いつまで経ってもうまくいかないのでは。
委 員	先ほどの市P連のアンケートについてです。幼稚園・保育園・こども園、小中学校まではアンケートを取ることは決まっていますが、今の高校生達は今後5年から10年後に結婚して子どもをもつことになった時に、その子ども達が新しい制度で学校に行くことになると思います。今の高校生の子達が人吉に帰ってきて、子どもを産みたい、育てたいと思うだろうか。新しい学校の制度がその子達に魅力的に映るかどうか。もう出て行って帰ってこないかもしれない。そういうことも考えていかないと、今の人吉には就職先も大学もないのでほとんど出ていくし、帰って来るのは何割かです。魅力ある、人吉に住みたい、人吉は育てやすいと謳っていますが、はっきり言って育てやすくはないと思っていますが、高校生達からもこのアンケートを取ってもいいのではないかと思います。そして全般的に、最初の一段階として、そこから重ねていく。たくさん意見を聞いた方がいい。保護者、子ども達。答申時期は決まっている

けれども、ここでしっかりと意見を言っておかないと、あの検討委員会はダメだったなど後から言われる可能性があるので、選ばれた委員には責任がある。未来の子ども達や未来の親になる子ども達のために、今委員である私達がしっかりとやっていかなければいけない。できればアンケートを増やしてもらえたらと思います。

八幡 委員長

地域の方々からの温かいお話も先ほどから伺っていますが、子ども達は地域の方々から大事に見守られながら育っていると、しかし、子ども達もお客さんではダメなんですよ。自分達も地域の担い手の一人であり、将来のことを展望して、人吉というまちで次の子ども達を産み育てていく主体として育てていく時期だと思います。そのためには、先ほど高校生という話がありましたが、今中学校でも地域の人々と中学生ができることを考えていこうという学びの場もあり、地域の方と活動することで一体感が生まれるような育て方をしようとしています。県北の高校では、実際にこれからの人口動態の流れを踏まえて学校再編をどうしたらいいのか、というディベート・プロジェクトをやっているようです。もちろん当事者として自分の出身校は残してほしいと思うけれども、将来の自分の子ども達のことを考えると、やはりきちんとした校舎や環境が整った中でしっかりとした教育を受けることが大事で、そのためにはある程度の学校の整理は必要だという意見が生まれたりする。そのように子ども達の当事者としての意見もうまくこの場に取り込めればなと思います。残念ながらこの場には中学生や高校生はいませんが、熊本市では高校生を審議会の委員として組み込む取組も行っています。県は小中高生にじかにヒアリングする取組も行っているのも、もし可能であれば、そういった機会があるといいなと思います。中学校の先生はいらっしゃいますか。

委 員

今日はいらっしゃいません。

八幡 委員長

そういうところも育てていただくとありがたいなと思います。

委 員

小学校からです。小学校で保護者にアンケートを取る際に、しっかり考えてもらうためのきっかけとして大事なものは、どうやったら自分事として考えてもらえるか。市内の小学校は今の状態が続くと、いずれ全校全学年が1クラスになると思います。昨年の協議の時に、統合して最低でも2クラスあるとクラスごとに切磋琢磨できるし、学力向上や人間関係、クラス替えなどのメリットがあり、統合は今後必ず必要だと思っています。2クラスになったらメリットがたくさんあるということも知らせながらアンケートを取っていただければいけないと思います。このパターンを見ると、パターンBが一番、三中校区の良さも残しつつ、統合がしやすいパターンかなと思いました。それが小学校として言えることで、一学年2クラス以上、ですね。

八幡 委員長

先ほどの子どもの意見を聞く取組で、天草の小学校高学年の子ども達の話も県で聴きとってあるのですが、自分の小学校は一学年10名もおらず全校で70名もないので統廃合の話が出ている、でもいきなり統廃合ではなく相手校と事前に交流したい、子ども同士のつながりの世界も今のままでは寂しいと思う、と。学校が別々でも交流を持つ機会を充実してほしい、という声を上げてくれた子もいます。小学生のクラス

		の規模なども、子どもも保護者もどう考えているのか、先生方もどう考えるか、そう する機会になると思います。
委 員		私は高校生になる時、身長が147センチしかありませんでしたが、人吉高校に入 った時に背格好が似た子がいて友達になりました。規模は大きくした方が、友達を作 る、話が気軽にできる、というのが子どもの心理上、都合がいいのではと思います。
委 員		人西小のPTAからです。個人的なことを言えば、10年後だと一番下の息子が1 3歳、ちょうど中学校入学の年になります。その時1校になっているのか、義務教育 学校になっているのかわかりませんが、今の中・二・三校は特色がいろいろとあ ります。それがなくなるのも寂しいと思っていて、それでも一つにしないとダメなん だろうと、行政的にも財政的に考えてもそうなってくると思ってはいるのですが、 一つ懸念するのが、特色とはどんなものを作っていくのかということ。そのあり方 も大事ではないかと思います。なぜなら、今でも中学校から人吉を出て私立に行く子 ども達もいるので、やはり魅力ある学校づくりも大事ではないかと思います。
八幡 委員長		日本の教育のいいところは、全国どこにいても一定水準の教育が受けられるという ところだと思います。でもその中でどう地域の特色を立てていくか、という意見も大 事かなと思います。
委 員		今度うちの子どもが1年生で、学校の支援学級に入学することになっていてタクシ ー通学なのですが、タクシーに乗せるわけにはいかない場面もあります。小学校が統 合されると通学は親の負担が出てくるので、ゆくゆくは統合も必要だと思うので すが、現状は小学校は今の方がいいと思います。
八幡 委員長		ぜひそういった立場からの意見もいただけるとありがたいです。
委 員		東間小PTAからです。前回初めて参加し、途中からなのでわからないことがたく さんあったのですが、私が感じたのは、どんどん人が少なくなっていく人吉市で、こ れから人口が増えることは可能性としては低いと思います。ただ子ども達は大きくな って、人吉に残るよりも外に出る子の方が多くなる、その中でいろんな方々と触れ合 う機会があると思うので、少人数のクラスよりも多人数で生活していた方が将来的な 可能性としては広がると思う反面、友達付き合いやいじめなどで学校に行けなくなる 子ども達のカバーは必ずしないといけないと思います。統合するメリットもデメリッ トもあり、100点満点はない中で、どうしてもやっていきながら調整する部分も十 分検討しながらやっていかなければいけないと思います。子ども達一人一人、それぞ れ特色があると思うので、その特色をなるべく消さないような、子ども達がしっか りと学べる環境を作りながらこのあり方検討会で一つ、示していければいいと思っ ています。
委 員		先日、急遽運営委員会を開いて、今保護者に浸透するにはどうしたらいいか、とい うことについて意見を聞いて、役員の中から、もっと聞きたい、という意見を出すよ うな工夫をしたらいいのではないかと、などの意見はあったのですが、私個人として思 うのは、やはり保護者が知っておかなければいけないので、保育園の方からアンケー

委員	トなり、しっかりとやるべきかなと思います。
委員	私は高校までは人吉市内にいて働くところがなかったので愛知県に行き、退職して帰ってきて20年が経ちました。小学校が合併することで心配なのは、子ども達の通学です。小学校低学年の小さい子ども達がきちんと学校まで行けるか。昔は走ったり遊んだりしながら5、6キロ通学していましたが、今は車も多いし、通学の方法を確立してから合併に踏み切った方がいいのではと思います。
委員	私も今回で2回目です。前回、中学校を1校にするという意見も昨年度はあった、という話がありました。そういった話が資料ではなかったのでよくわからなかったのですが、この話は本当にまとまるのかな、と思いました。前回、来年の2月には答申を出さないといけないという話で、本当にこのままで出せるのかなと不思議に思ったんですね。いろんな意見は必要だと思いますが、それをまとめて答申を出すとするばまとまるのか、すごく不安でした。私も高校卒業から人吉を出てUターンで人吉に帰ってきたのですが、こんなに小中学生の数が少なくなっているということに驚きました。大畑小学校は以前2クラスあったのですがかなり少ない人数になっています。将来的には統合しかない、縮小していく中でどうやって育てていけばいいのかということを考えなくてはいけないと思うので、それをどうやってまとめていくのか。いろんな意見を聞くのは必要だと思うのですが、小中一貫校にしても義務教育学校にしても縮小していく中でそれをきちんと生かしていける学校の作り方ができるのかどうか。問題をそんなにたくさんあっち行ったりこっち行ったりして話していてわかるのかなと、特にそれを実感しています。
八幡 委員長	いろいろと不安に思っていらっしゃると思いますが、昨年度の会議は3回あり、1回目はこの会議の趣旨について事務局からの主な説明、残りの2回はワークショップ、グループでこれからの人吉市の望ましい学校の規模、あり方はどういうものなのかをディスカッションして今年度に入り、4回目は昨年度の振り返り、今年のメインは住民意見交換会だと思うのですが、この会への参加人数が少なかった、というところが前回までの流れです。昨年度は会議の様子をまとめてニュースという形で作っていたので、お持ちでなければ事務局に願い出ていただければと思います。
安達副委員長	いろいろな方のご意見を聞きながらと考えているうちに、自分はなんて言ったらいいのかと考えていたところです。あさぎり町内5中学校が合併して1校になることに関わった時に思ったのが、小学校同士の交流についてです。5校が閉校を迎える時に私はそのうちの1校にいたのですが、部活動の交流もあり、吹奏楽部の合同演奏会を開いたりしていました。あと修学旅行を一緒に行く、5校まとめて同じ日に同じところに行くということも行っていました。その前の段階がものすごく大変だったと思います。1校にするか2校にするかと、だいぶ揉めたという話は聞きましたが、私が学校に入った時にはすでに方向が決まりつつあって、1校になるというところで落ち着いたところでした。決まってからの、校歌や校章はどうするか、制服はどうするかという話し合いには参加していますが、実際どのような方向にするのかというところは

直接参加していないので、大変だったんだろうなというところです。あと、特色のある、というところで、博多のまちの5校ぐらいが1校になって博多小学校ができたときの話で、その学校の先生の話を知ったら、とにかく祭りでまとまるのだそうです。学習というよりも、とにかく祭り。なので「うちは生徒指導の生の字もないですよ」と言われたのでびっくりしました。特色のある、というのもいろいろあり、もちろんすごくいいと思うのですが、それぞれの学校にそれぞれ特色があるというところを頑張っていると思うので、特別何かに求めていくのか、それぞれのところで頑張っていくのかというところで考え方はいろいろあると思います。はっきりとどちらの方向にはできないと思いますが、今の段階では難しいですが、統合するという方向にはしていかなければいけないと思います。

5 本日の総括（委員長）

八幡 委員長

本日の内容としては、中学校はしっかりと教育環境が整った1校程度、小学校の分け方は、資料3ページでいうとパターンBが現状にそぐう形ではないか、しかし大畑小の状況もあるので、今行っているアンケートの結果を次回ご報告いただけるということで、そういった結果も踏まえて、具体的に詰めていくという形にしていきたいと思います。何らかの形で小学校も複数校の統合、再編が進むとしていろんな問題、学童、通学路などの懸念点、特別支援学級の子ども達への配慮などについても、アンケートや個別に意見を聞くなどで集めていただき、そのあたりも踏まえてこれからのあり方を考えていければと思います。

委 員

アンケートの締め切りを9月18日に設定しています。できれば2～3日ほしいので、次の週ぐらいに次回の会議の日程をもってきてもらえるとありがたいです。

6 その他

（1）次回開催日（予定） 令和8年10月1日（木）午後2時30分～
人吉市役所3階 301・302会議室

7 閉 会

杉本 係長

それでは、これを持ちまして令和8年第6回人吉市立学校のあり方検討委員会を終了いたします。本日はご参加ありがとうございました。

< 午後4時27分 閉会 >

.....